

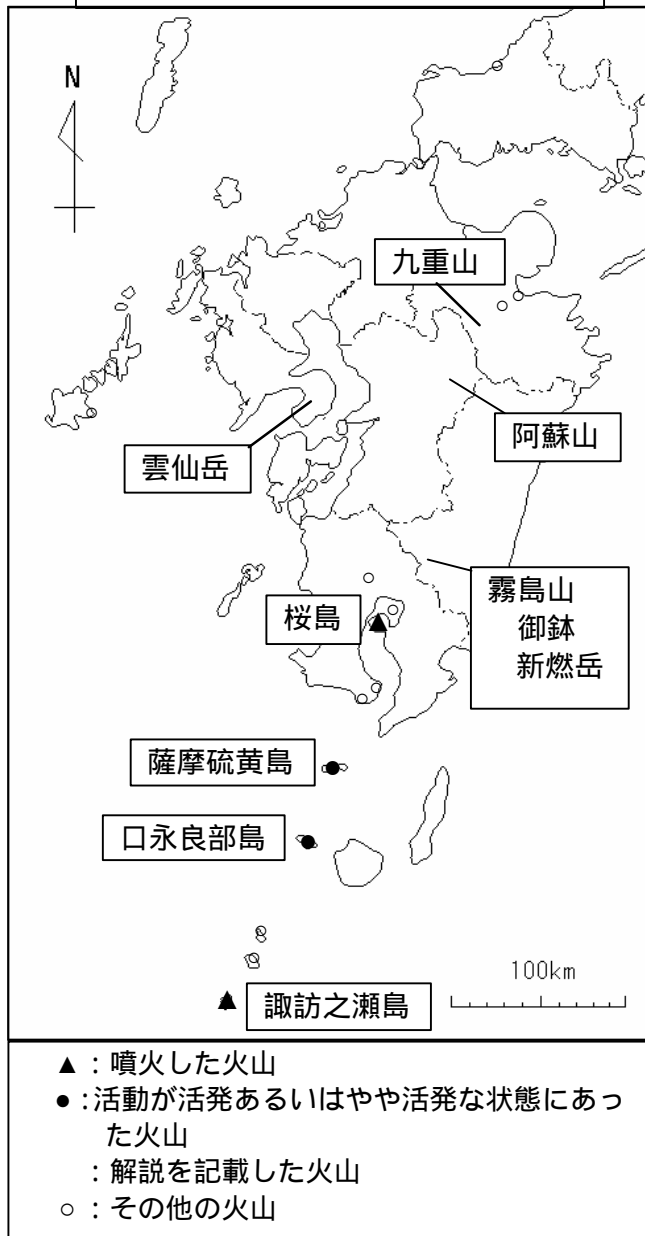
九州地方の火山活動解説資料(平成 19 年 1 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【1月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。
薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

九州地方および山口県の活火山



九重山[静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢 静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

[新燃岳 静穏な状況(レベル1)] ← 9日にやや活発な状況(レベル2)から引下げ

昨年12月14日以降、火山性地震は少なく、火口縁を超える噴気も観測されないなど、火山活動は静穏な状態で経過しました。

▲ 桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]

南岳山頂火口では2日に爆発的噴火が発生し、噴石が5合目まで飛散しました。昭和火口からの噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

● 薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震もやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

● 口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]

火山性地震や微動はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

▲ 諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]

爆発的噴火や噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいいます。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料(平成19年2月分)は3月8日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

火山情報発表状況

火山名	火 山 情 報 名	発表日時	概 要
霧島山	火山観測情報第 1 号	1 月 9 日 15 時 00 分	静穏な状況(レベル 1) ← 9 日にやや活発な状況(レベル 2)から引下げ 新燃岳では、12 月 14 日以降、火山性地震は少なく、火口縁を超える噴気も観測されないなど、火山活動は静穏になったと判断し、レベルを引下げました。 御鉢は、静穏な状況で経過しました。